

# 資料4 新たなタイプのホームドアの技術開発事例

○現在、国土交通省において、ホームドアの更なる設備促進を図るため、車両扉位置の相違やコスト低減等の課題に対応可能な新たなタイプのホームドアの技術開発に対して支援を行っているところ。

方式	昇降バー式	昇降ロープ式	昇降ロープ式(支柱伸縮型)	マルチドア対応ホームドア
開発主体	(株)高見沢サイバネティックス	日本信号(株)	西日本旅客鉄道(株)	三菱重工交通機器エンジニアリング(株)
概要	 <p>上昇時</p>  <p>下降時</p>	 <p>上昇時</p>  <p>下降時</p>	 <p>車両1両分 上昇時</p>  <p>車両1両分 下降時</p>	<p>4ドア</p>  <p>3ドア</p>  <p>2ドア</p> 
特徴	<p>・従来のホームドア部分を昇降するバーやロープとすることで、開口部を広くし、異なる扉位置の車両に対応。また、軽量化により、設置コストを低減。</p>			<p>・車両の扉位置に対応してホームドアが開く位置を変えることにより、異なる扉位置の車両に対応。</p>
備考	<p>相鉄いずみ野線 弥生台駅にて現地試験実施中。 (平成25年10月～平成26年10月頃)</p>	<p>東急田園都市線 つきみ野駅にて現地試験実施中。 (平成25年10月～平成26年9月頃)</p>	<p>JR東海道線 六甲道駅にて、平成26年末頃までに現地試験開始予定。 ＜参考＞JR桜島線 桜島駅にて現地試験実施。 (平成25年12月～平成26年3月)</p>	<p>社内にて機能確認試験実施予定。 (平成27年4月～)</p>

なお、現地試験が行われている路線・駅に、これらのホームドアの導入が決定された訳ではない。